

## ＜白金標準先物、欧州のロックダウン懸念で3700円への調整安・・・＞



(出所：オアシス)

欧州では、新型コロナ・ウイルスの感染拡大に伴いオーストリアでロックダウンを22日から10日間実施して続けるかを検証する。ドイツ保健相も感染拡大に伴い「あらゆる対策を削除しない」と発言しており、部分的なロックダウンを示唆している。オランダは飲食業の20時以降の禁止処置を行うなど、感染拡大の伴うロックダウンの6文字が新たな要因として浮上している。特に8月以降の白金標準先物は、3800円から3185円まで中国の規制強化やサプライチェーンの混乱に伴う自動車生産台数の低下、恒大集団のデフォルトリスクの高まりなどを受けて下値を模索したが、尽く市場に織り込まれ、または改善を示しており4050円まで戻している。そのため新たなロックダウンの要因が浮上した事で、欧州の通貨安に沿って目先は3700円に向けた調整場面が予想される。しかし過去の感染要因に伴う値下がりには、時間と共に解消される値動きを示しており、12月に入ると感染の落ち着きと合わせて再度4000円へ向けた回帰相場が予想される。

### ＜テクニカル＞

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDでは、MACDが下げながらシグナルを下回り、RCIでも短期が下げながら長期を下回っている。また日足が10日移動平均線を下回るなど、40日移動平均線に向けた下値追いに注意したい。

### ＜データ＞

NYMEX 指定倉庫在庫（トロイオンス）：507153（前週比+20328）

世界プラチナETF残高（トン）：71.51（前週比-0.37）

2021年11月22日

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 276,000 円(2021年11月22日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2021年11月22日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>